



常盤っ子

草津市立常盤小学校
学校だより
令和3(2021)年10月1日

教育目標 「やさしさと強さを持ち、人を大切にする子どもの育成」

合言葉 「差別を見抜き、自ら正しく行動し、最後までやりきる、常盤っ子」

通常日課での学校生活がもどってきました。

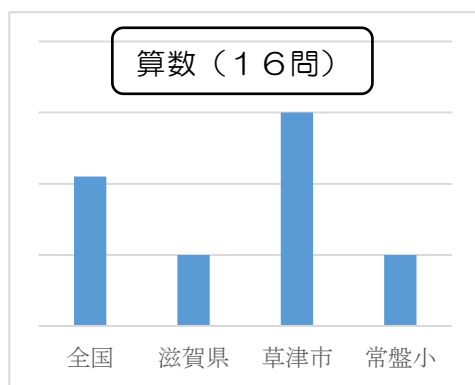
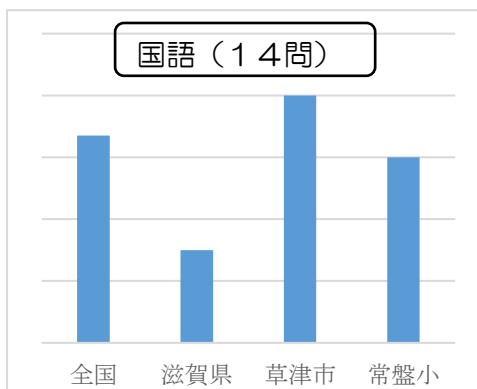
8月末より滋賀県に緊急事態宣言が出され、9月30日(木)まで延長されたことを受けて、草津市では午前中を対面での授業、午後からはオンライン授業を行ってきました。今回、草津市では、9月27日(月)より通常日課での教育活動を行うこととしました。保護者の皆さま、地域の皆さまには、子どもたちの登下校の見守りや昼食・オンライン授業の対応等、長期間にわたりご協力いただき、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願ひします。

全国学力学習状況調査の結果についてお知らせします。

全国の小学6年生と中学3年生の全員を対象に、5月27日に実施された全国学力学習状況調査の結果が過日公表されました。今回は、本校の結果についてお伝えします。

まずは、本校の学力調査(国語科・算数科)の結果を下のグラフに示します。

令和3年度 全国学力学習状況調査 教科ごとの正答率



国語科では、全国の平均正答率をやや下回る結果となりました。滋賀県の平均正答率よりは高いものの、草津市の平均正答率からは低い結果でした。今回の調査結果では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する事項の問題について、全国的な平均正答率を1.4ポイントから2.8ポイント上回っています。これは、これまで本校が大切にしてきた学んだことをまとめる活動や「自分の考えをもつ・人の話を自分の考えと比べて聞く・新しい考えを生み出す」というコミュニケーションの力(滋賀県がめざす「読み解く力」)を育てていく授業が進みつつあるととらえています。その一方で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の問題については、全国的な平均正答率を4.1ポイント下回っています。具体的には、漢字の書きとりや

修飾語の關係といった問題です。これらの基礎的・基本的な知識・技能については、くり返し問題を解くこと等で定着を図っていきたいと考えています。

算数科では、滋賀県の平均正答率並みの結果となりました。草津市の小学校の平均正答率ですが、全国より高くなっています。本校では、「変化と關係」に関する問題では、全国的な平均正答率を3.3ポイント上回っていますが、「数と計算」に関する問題は全国的な平均正答率を2.7ポイント下回っています。さらに、「データの活用」に関する問題では、全国的な平均正答率を4.3ポイント下回っています。算数科については、前回調査（平成31年度）でも国語科と比べ、苦手意識をもっていたり、学習の定着が十分でなかったりしたことがわかっています。今回も同様の結果になったことを重く受けとめ、今後は、より一層学んだことの定着を図っていきたいと考えています。

授業で学んだことを振り返って、自分の言葉でまとめることや自信がつくまで練習問題に取り組むことが、本当の「わかった!」「できた!」につながります。授業だけでなく自主的な学習の取り組み方についても、ご家庭と学校が連携して進められますようご協力をお願いします。

以上、本校の国語科・算数科の結果の概要についてお伝えしました。なお、児童質問紙結果ならびに今後の取組については、10月中旬に発行予定の「常盤っ子」でお知らせしたいと思います。よろしくをお願いします。 校長 廣瀬 智彦

10月 行事予定

日	曜日	行事等の内容	日	曜日	行事等の内容
4	月	常小みんな笑顔の日 家庭学習がんばり週間 (10日まで) 委員会	5	火	2年放課後自習広場
7	木	3年放課後自習広場	8	金	1年放課後自習広場
12	火	2年放課後自習広場	13	水	1年いもほり
14	木	1年いもほり(予備日) 3年放課後自習広場	15	金	1年放課後自習広場
18	月	クラブ	19	火	2年放課後自習広場
21	木	3年放課後自習広場	22	金	1年放課後自習広場
26	火	口座振替(11月分)	29	金	6年戦争体験講話③④

